

絵画修復家の アトリエから

加賀優記子……絵画修復家

まずは先回のコラムでのお詫びです。

文章の中に、ヘルフランやレンブランドのよう
な日本の絵具メーカー……だなんて間違った事
を書いてしまいました。

大晦日の土壇場に書いた文章で、どうやら頭の中が早くもお正月を迎えてしまっていたようです。
大変失礼しました！

さて……このあいだ、ふとした会話の中で、画材業界では長らくのあいだ、ヒット商品が生まれ
ていないという事がよく話題になる、ということ
を聞きました。

ふーん、そうなんです。知らなかった。出不
精の私が時たま画材店に出かけると、ほほう、と

つい手にとってしまうような新製品がたくさん出
ている気がするのだけど。随分前にはデュオとい
う、水で希釈できる油絵の具なんていうのが出て
いたし、絵具で汚れた手のためのクリーナーには
発売以来かなりお世話になったものですが。

私自身では、こうした界面活性剤とか変性油脂
などを駆使した化学系の製品についてはぜんぜん
アイディアは浮かばないけど、カルチャーセンタ
ーで教えていたときによく思ったのは「模写キッ
ト」なるものを作って売ったら流行らないかなあ
と言う事でした。

私は何故かカルチャーセンターでは修復の講義
以外に模写の授業を依頼される事が多いのです。
しかしこれが結構無謀なコンセプトで、「1日で
描くルーベンスの天使」とか、10週やそこらでフ
エルメールの人物像を描こう、なんて全く時間の
足りない授業を立ち上げたりする。断っておきま
すけれど、こういう無理のある企画、けして私が
やろうと言いはじめてるんじゃないですよ！

ルーベンスの天使なんて、あの時は、「もう無
理。ぜんぜん無理！」って大反対したんだもん。
だって、下手をしたら全くの初心者の人がいて、
しかも40人近くいるのに、どうやって1日でルー
ベンスを描くのを教えるの!?

でも、今年美術科はじめて担当の可愛いお姉さ
んが、「クリスマスも近いし、お客さんをお呼びに

は絶対にルーベンスで、やっぱり天使なんです。
もうこれしかないと思うんです、うう。」なんて
目に涙を浮かべるんですもの。判った、判った。
やるしかないネ。本当に有名な巨匠の名をパンフ
に載せると反響は違うらしい。

たった2時間やそこらの授業を10回やっただけ
でフェルメールの名作が描けてしまったら、1mm
単位で光の変化を追って描いているフェルメール
だってびつくりしちゃうでしょうけど、私の授業
では、とにかく、とりあえず当時の時代にどんな
材料で、どうやって描いていたのかを肌で知って
もらう、ということを中心に講義を組み立ててい
ます。作品は仕上らなくても、みなさんの麻布
にニカワを塗る事に格闘したり、溶き油を調合し
たり、人物の肌の昔の描き方をはじめて知ったり
する。

それにしても、「ルーベンスの天使」の時
は、一日である程度「描きあがった」感を持たせ
るために、結局私が合板パネルに寒冷紗を貼り、
石膏を三層塗って、研いで、鉛白層を塗り、カー
ボンで天使の下書きをし、なんとシルバーホワイ
トで人体のモデリングまでした！物を45人分用意
して、イーゼルにずらっと並べ、色を限定指定し
て、皆さんに描いて貰いました。それは殆ど「ぬ
りえ」状態の授業でしたが、それでもあのシツカ
リとした風合いのある地塗りパネルを持って帰る

のは皆さん嬉しそうでした。(私はクラクラする
程の準備のために、帰りの電車の中で口を空けて
寝てたけれど。)

で、私のアイディアと言うのは、「人気の」こ
うした巨匠の手頃な作品を、私の作ったパネルの
ように当時の技法そのままに、板や麻布、膠、地
塗り用の素材から揃えて、顔料や溶き油と、それ
に描き方の模範演技つき説明ビデオ、出来のいい
原寸大コピーも添えてプラモデルみたいに箱に入
れた商品にするのはどうかかって。タイアップで
実際にそれを使って制作する講座を開いたり、コ
ンクールをしたり。

普段、うちのアトリエでは時間をかけて古典技
法とはどんなものか、いろいろな美術館のビデオ
を見せたり、スライドでマチエールの接写画面を
見せたりして理解を深めてもらっています。でも、
カルチャーセンターでは、時間の限定があつてそ
うはいかない。しかし、模写の授業はいつも人気
があるようです。だから、自宅でじっくり制作で
きる様に意欲をかきたてるキットがあるといい。

できれば、美術館の本物の映像、しかも静止画
面を長く取って、マチエールを大写しにしたもの
のビデオをつけられるといいでしょうね。今まで、
そういうのはないから。

どうでしょう、こんな新製品、どこかで出した
りしませんか!?



うちのアトリエの授業風景／古典技法の講義を聞いた後は、模写の制作をしています。